

## チャレンジ！！ オープンガバナンス2016

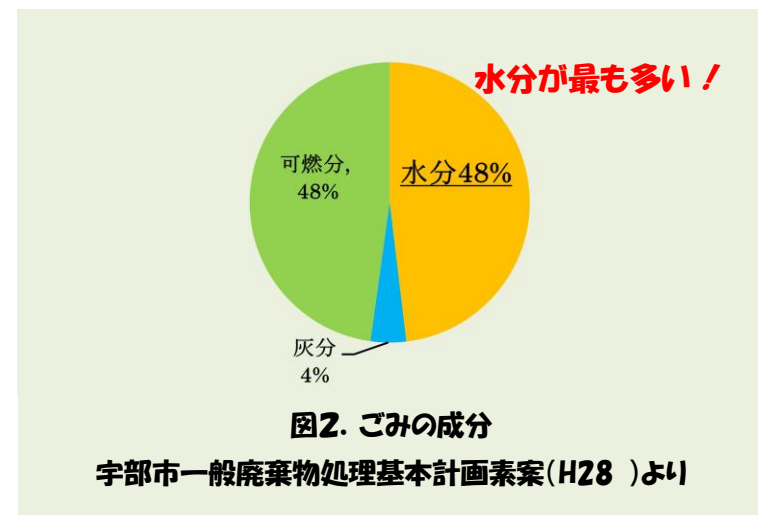
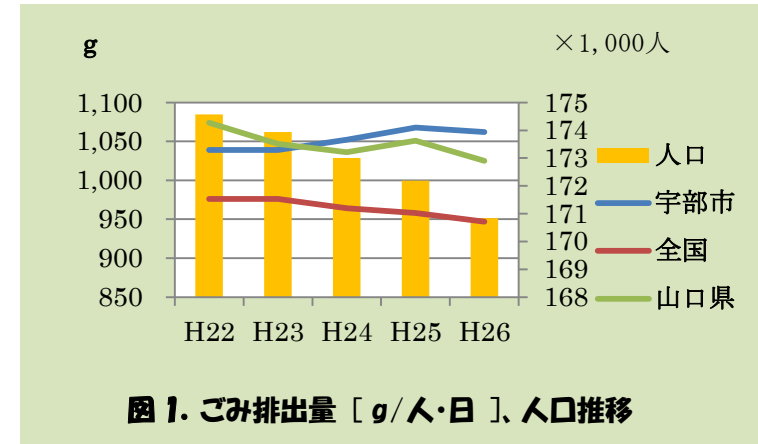
# 市民一人ひとりによる「生ごみの水切り」で ゴミを減らそう！

### 背景

1. 宇部市の人口は毎年減少しているが、市民のごみの排出量は増加の傾向にある。(図1. ゴミ排出量 参照)  
ごみ排出量の増加は、環境破壊だけでなく、市の財政圧迫の面からも緊急の課題となっている。
2. ごみの組成から見ると水分が大半である。  
(図2. ゴミの組成 参照)  
水分を取り除くことが「ごみ減量」に最も効果的である。
3. 宇部市環境衛生連合会は市内24支部からなり、それぞれの地域で環境保持、衛生活動に携わっている団体で、日常的にごみ出しなどの研修を実施していて、小学校で環境教育の経験もある。

### 概要

1. 「水切り」の徹底を多数の市民に広げることでゴミを減量する。
2. 小学生対象の「水切り」の研修会を開催する。
3. 研修内容は、「水切り」グッズの考案、製作、家庭での実行。
4. 各家庭でゴミの排出量を計測し、市の平均値と比較する。
5. 毎年、この研修を続け、宇部市の削減目標( H33、840g/人・日 )を達成する。





小学校での実習 参考写真

## 実現までの流れ

### 1. 「水切り」研修会の準備

実施する小学校、学年、時期などを宇部市廃棄物対策課や教育委員会、小学校と協議する。

### 2. 「水切り」研修会の概要

#### (1) 「水切り」グッズのアイデア検討(研修第1回)

- ① ゴミの課題や「水切り」の効果について解説
- ② ワークショップの形で、班ごとに「水切り」グッズを考える。

#### (2) 「水切り」グッズの製作実習(研修第2回)

- ① それぞれの班で考案した「水切り」グッズを作成する。
- ② 各人グッズを持帰り、ごみ出し時に計量し、記録する。

#### (3) 結果報告(研修第3回)

- ① 各家庭でのごみ排出量を宇部市の平均と比較検討して発表。
- ② 優秀な班を「水切りマスター」として表彰する。

## アピールポイント

1. 「水切り」という簡単な作業でゴミ減量を実現できる。
2. 子どもに早期の環境教育ができる。
3. 子どもの活動力で「水切り」を家庭まで浸透させることができる。
4. 宇部市環境衛生連合会の組織力が活用できる。



宇部市環境衛生連合会